



学校の安全・安心の暮らしのために



子供たちが日々安心して暮らすことができるように、学校では、教職員が分担して、安全点検を行っています。月に一回、校舎等内外の施設・設備を点検し、危険箇所を事前に発見したり、それらの危険の補修等を行ったりしています。

小学校の環境は、常に同じ状態にあるわけではなく、季節や時間の経過、自然災害等によっても変化します。そのために、安全点検を継続的・計画的に行って、危険箇所を見つけていきます。

そこで、危険箇所が、見つかったときに学校の補修・営繕作業に当たってくれるのが、主事の橋本先生です。今回は、百葉箱の木枠がもろくなっていて、色も剥げ落ちていましたので、修理を行ってくれました。これで百葉箱を使った実験・観察も安心してできるようになりました。今後も、子供たちの安全・安心の生活のために、教職員全員で力を合わせていきます。

委員長会議



2日(月)の昼休みに、各委員会の委員長が校長室に集まって、委員長会議を行いました。昨年度からの取り組みで、帯山西小学校をよりよくするため、各委員会の代表者が参画し、建設的な意見が活発に出し合われます。感染症予防のため、活動が制限されてしまう状況ではありますが、その中でも、工夫を凝らして取り組もうと考えています。

今回は、児童会のテーマを決める話合いとなりました。今年度の児童会のテーマは、帯山西学校の「4つの心」を意識したテーマとなっています。「わくわく」は帯西ブルーの視点で決めてあり、残りの3つを「帯西レッド・グリーン・イエロー」の視点から、全ての子供たちにとって親しみやすい言葉となるように議論していきます。短い時間の中で、一人一人が学校のよさを引き出すために、活発に意見を出し合う姿が見られ、「学校を支える力」に頼もしさを感じました。児童会テーマが決まったら、また紹介します。